

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	のびしろ垂水駅前教室			
○保護者評価実施期間	2026年2月20日		～	2026年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数)	10人
○従業者評価実施期間	2026年2月20日		～	2026年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・1時間に3名までの支援体制を確立させることで、職員の人 員配置が充実している。 →マンツーマンで支援をすることができ、お子様の様子がよく 見えます。また、臨機応変な対応やTEACCH・PECSを取り入 れた支援をより具体的に実践することができます。	・原則3名までの支援体制を整えることで、マンツーマンでの 支援を実現しています。 ・強みを活かし、毎回の療育もアセスメントと考慮して支援して います。そのため、職員間でお子様の情報共有をできる限り密 に行い、日々の支援内容のブラッシュアップを意識し、定期的 な研修も行っていきます。	・一人ひとりに寄り添った教材準備・プログラム作成には時 間を要することで、長時間の支援を提供できないこと、職員 の負担が大きくなってしまふ現状です。事業所の強みを維持 しながら簡略化できるところは改善することで、職員の負担 軽減を図っていきたく思います。
2	・マンツーマン支援によりお子様に合った支援内容を提供でき る。 ・送迎を保護者をお願いすることで保護者との密な連携が可能 →お子様・保護者の方との密なコミュニケーションが実現し、 支援計画の内容についても丁寧に説明することができていま す。	・お子様一人ひとりに寄り添った支援計画を作成できるよう、 保護者の方には自由に支援を見学いただいたり、お子様の気持 ちに寄り添って同席の支援も行っています。お子様の様子を保 護者の皆様と一緒に観察すること・じっくりお話を時間を定 期的に確保することで、お子様に合った関わり方を保護者の方 とともに考えています。	・現状の支援体制を維持することで、それぞれのお子様 に合った支援を変わりなく提供できるよう邁進いたします。 ・ごきょうだいと一緒にご来所されている保護者の方とは、 お話しのお時間を中々取りづらい状況です。今後の課題と思 い、どのように支援させていただくと良いか考えて参りま す。
3	・TEACCHを基盤とし、支援環境や支援内容の構造化を図って いる。 →視覚的にわかりやすい環境配慮と支援を行うことで、お子様 が見通しを持って安心して活動できるように支援しています。 完成見本を提示したり、やり方を実演する等、課題の取り組み 時にも配慮しています。	・カーペットの色・パーティションによる仕切り・スケジュール ルカードを目印として配置する等ことで、どこで何をするのか が見てわかりやすいようになっています。 ・視覚的にわかりやすいよう教材や掲示物を選択するようにし ています。	・お子様の増加に伴い、環境面の配慮について、既存の物か ら「こうしたほうがよりわかりやすい」という気づきがあつ ても、その全てに対応するのが難しい状況です。しかし、 日々情報共有を行うことで、各職員に気づきがあり、少しづ つブラッシュアップをしております。引き続き、お子様が安 心して活動できるよう意識して支援して参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援室の広さの面では、他事業所と比べると少し手狭になつ ている。 →お子様が駆け回れるような広さがなく、怪我・衝突等の恐れ があるため、大がかりな運動支援は難しく思います。その分、 広さを必要としない運動あそびを十分検討した上で実施するよ う努めております。	・感覚を育てていきたい段階のお子様利用されているため、 運動療育としては物足りなさを感じる方もいらっしゃるかもし れません。	・支援室の広さの面では、他事業所と比べると少し手狭かも しれません。お子様が駆け回れるような広さがなく、怪我・ 衝突等の恐れがあるため、大がかりな運動支援は難しく思 います。その分、広さを必要としない運動あそびを十分検討し た上で実施するよう努めております。
2	・長時間の預かりができないため、保護者のレスパイトとして 利用いただくには向かない。 →「体調が悪いため預かり時間が長くしてほしい」という想 いには応えることが難しい。	・保護者の方との密なコミュニケーションを大切にしたい想 いがあるため。 ・個別・1時間あたりの利用児童は3名までと配慮できてい る一方で、教材の準備には大変な時間を要しております。お子様 一人ひとりに合った教材の選択を行っているため、現状の支援 時間より長く伸ばしていくことは難しいのが現状です。	・一人ひとりに寄り添った支援を提供できることが、弊所の 強みの部分でもあるため、現状のところは支援時間を変更し ていく予定はございません。 ・お疲れの様子が見られる保護者の方には、短い時間ではあ りますが、外出を促したりと少しでもお子様とは慣れて休憩 の時間がとれるようお声掛けさせていただいております。
3	・送迎を行っていないため、共働きの保護者の方には送迎の負 担をかけてしまう。 →共働き家庭が多く、「送迎やっていますか?」のご希望には 寄り添えていません。 →お仕事の休日や、お仕事の後に送迎して下さっている保護 者の方が多くいらっしゃいます。	・個別・1時間あたりの利用児童は3名までと配慮できてい る一方で、教材の準備には大変な時間を要しております。お子様 一人ひとりに合ったより効果的な支援を提供していくために は、送迎業務を実践していくことが難しいのが現状です。	・一人ひとりに寄り添った支援をできることが、弊所の強 みの部分でもあるため、現状のところは支援時間を変更してい く予定はございません。